

まちのわだい

3年ぶりの二部地区たたらまつり

二部地区恒例の「たたらまつり」が2月25日(土)〜27日(月)に二部公民館で開催され、多くの人で賑わいました。

たたらまつりでは、特別展として地域の歴史や伝統行事に関する展示を毎年行っています。今年は、二部小学校創立150周年にちなんで、「学びの夜明け〜寺子屋から〜」と題し、二部地区の教育の歴史や教科書等の資料の展示が行われました。たたらまつりの開催に合わせて藁や材木で制作された「寺子屋」を見た来場者は、「二部の教育の起源に触れることができ、感激した」と話しました。



特別展の様子

そのほか、公民館教室や同好会の絵手紙、地域住民の手工芸品などの作品展示、二部地区の農産物と加工品の販売も行われました。訪れた人は、二部の歴史を感じながら、3年ぶりのまつりを楽しんでいる様子でした。



すぐに売り切れてしまう農産物・加工品もありました

災害時の救援・救助などの相互支援を B&G財団と協定締結

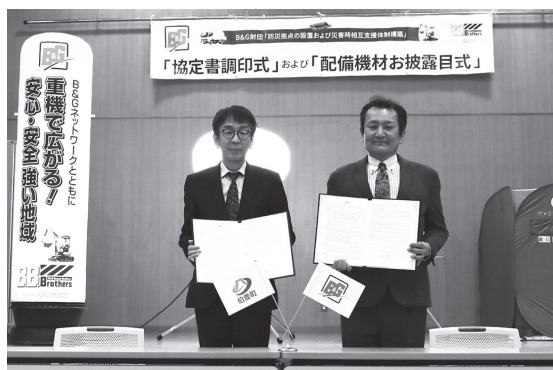
3月2日(木)、町は公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団(B&G財団)と「防災拠点の設置及び災害時相互支援体制構築」の協定書調印を行いました。

この協定は、災害発生時の緊急対応・避難所運営に必要な防災倉庫の整備、油圧ショベル、救助艇、発電機などの機材配備、重機操作研修などの人材育成に係る費用の支援など、災害における支援体制の構築を目的として締結されたものです。



配備された油圧ショベルと3tダンプ

伯耆町には、3tダンプ2台、油圧ショベル2台、避難所用テント150張などの機材配備と操作研修などの人材育成費用の支援がありました。災害時に使用するほか、平常時にもり面の整備や防災体験学習などの事前防災活動に活用する予定です。



森安町長(左)とB&G財団管原理事長(右)